

平成24年度  
事業報告書

一般社団法人 日本工業用水協会

# 事業報告書目次

1. 会 務 .....	1
(1) 会員の現況 .....	1
(2) 総会 .....	2
(3) 理事会 .....	3
(4) 正副会長会議 .....	5
(5) 監事会 .....	6
2. 工業用水道事業の推進.....	7
(1) 平成25年度工業用水道事業施策に関する要望 .....	7
(2) 平成25年度工業用水関係予算の確保に関する政府要望 .....	7
3. 事 業 .....	7
(1) 調査研究業務 .....	7
(2) 出版に関する事業 .....	14

## 1. 会 務

### (1) 会員の現況

平成25年3月31日現在の会員は、下表に示すとおりである。

会 員 別	会 員 数	24年度	
		入 会 者	退 会 者
正会員	156	0	0
事業者	128	0	0
利用者	28	0	2
特別会員	49	1	0
関連産業会員	42	0	2
計	247	1	4

顧問：5名（内特別会員が3名）

(2) 総会

(2).1 第56回通常総会

日時 平成24年6月7日(木)  
場所 東京駅八重洲カンファレンスセンター 会議室  
出席者 会長代理 愛知県中野公営企業管理者 ほか214名  
来賓 経済産業省産業施設課 桑山工業用水道計画官  
狩野課長補佐 ほか3名  
議題 第1号議案 平成23年度事業報告書(案)  
第2号議案 平成23年度会計収支決算報告書(案)及び監査報告書  
第3号議案 後任役員の選任(案)  
第4号議案 一般社団法人移行に係る定款及び関連規則等の変更並びに公益  
目的支出計画(案)  
その他  
(1) 組織の見直し委員会報告  
(2) 工業用水道事業における災害相互応援に関する基本的ルール  
(3) 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ平成23年度活動報告  
(4) 平成25年度工業用水道事業施策に関する要望事項

概要

総会成立宣言に続いて、会長代理の愛知県中野公営企業管理者が議長となり、議事録署名人として議長のほか橋本茨城県知事、森田千葉県知事を選任のうえ議事に入った。

議長の命により各議案に沿って事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。

議案審議後、その他として議長から事務局に説明を求め、それぞれについて事務局より説明を行った。その他の報告案件は、事務局説明のとおりそれぞれ進めることとした。

(2).2 第57回通常総会

日時 平成24年11月6日(火)  
場所 東京市ヶ谷 アルカディア市ヶ谷  
出席者 会長代理 愛知県中野公営企業管理者 ほか200名  
来賓 経済産業省 照井地域経済産業審議官  
経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官 ほか2名  
総務省自治財政局 宮澤公営企業経営室長 ほか1名  
(社)日本水道協会 尾崎専務理事  
(社)日本水道工業団体連合会 坂本専務理事  
次第 会長挨拶  
来賓祝辞  
会長表彰  
議題 第1号議案 平成24年度補正収支予算(案)  
第2号議案 現行の定款及び一般社団法人移行に係る定款の変更(案)  
第3号議案 平成25年度事業計画(案)  
第4号議案 平成25年度収支予算(案)  
第5号議案 役員の選任(案)  
第6号議案 一般社団法人移行後の役員の選任(案)  
報告事項

- (1) 一般社団法人移行に係る内閣府への申請経過報告
- (2) 「組織等の見直し委員会」中間報告
- (3) 「工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ」平成24年度活動報告（中間報告）
- (4) 平成25年度工業用水道事業施策に関する要望及び今夏の電力需給対策に関する要望の概要報告
- (5) 平成25年度工業用水関係予算の確保等に関する要望

講演 首都大学東京 小泉特任教授

## 概要

総会成立宣言の後、会長の愛知県知事大村秀章（代理 中野公営企業管理者）から挨拶があり、続いて、経済産業大臣（代理 照井地域経済産業審議官）、総務大臣（代理 宮澤公営企業経営室長）から祝辞を賜った。

次に、多年工業用水道事業の普及発展に顕著な功績を挙げられた方々に対する会長表彰が行われ、功労賞17名、有効賞1名、勤続賞49名に各々賞状が授与された。

続いて、会長代理の愛知県中野公営企業管理者が議長となり、議事録署名人として議長のほか橋本茨城県知事、森田千葉県知事を選任のうえ議事に入った。

議長の命により、各議案について事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。なお、第2号議案に関連のある報告事項（1）もあわせて説明を行った。

議案審議後、議長から報告事項（2）は座長の愛知県企業庁村瀬技術監に説明を求め、来年度の総会に向け最終報告書をまとめていくこととした。

報告事項（3）から（5）について、議長からそれぞれの説明を求め、事務局から説明を行った。報告事項（3）については、今年度をもって当該ワーキンググループの活動を休止することとし、報告事項（5）については、事務局報告のとおり実施することとした。

最後に、首都大学東京 小泉特任教授から「水道における最近の動向」について講演が行われた。

## (3) 理事会

### (3) .1 第1回（第186回）

日時 平成24年6月7日（木）

場所 東京駅八重洲カンファレンスセンター 会議室

出席者 会長代理 愛知県中野公営企業管理者 ほか役員49名

来賓 経済産業省産業施設課 桑山工業用水道計画官  
狩野課長補佐 ほか3名

議題	第1号議案	平成23年度事業報告書（案）
	第2号議案	平成23年度会計収支決算報告書（案）及び監査報告書
	第3号議案	入会の承認（案）
	第4号議案	後任役員を選任（案）
	第5号議案	一般社団法人移行に係る定款及び関連規則等の変更並びに公益目的支出計画（案）
	第6号議案	平成25年度工業用水道事業施策に関する要望事項について（案）
	その他	報告事項
		(1) 組織等の見直し委員会報告
		(2) 工業用水道事業における災害相互応援に関する基本的ルール
		(3) 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ 平成23年度活動報告

## 概 要

経済産業省産業施設課桑山工業用水道計画官から挨拶を頂戴した後、愛知県中野公営企業管理者が議長となり、議事録署名人として議長のほか橋本茨城県知事、森田千葉県知事を選任のうえ議事に入った。

議長の命により各議案に沿って事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。

なお、第5号議案については、議長から関連するその他（1）の説明が求められ、事務局から説明を行った。質疑、審議したところ、内閣府への申請を7月から8月の予定で進めること、移行認可申請手続きに関し、軽微な変更は事務局一任とすること、内閣府から指導があった場合は「組織等の見直し委員会」に相談しながら進めることを含め、原案のとおり全会一致をもって議案が可決、承認された。

また、第6号議案の平成25年度工業用水道事業施策に関する要望については、後日速やかに関係各省庁に要望を行うこととなった。

議案審議後、その他（2）、（3）について議長から事務局に説明を求め、それぞれについて事務局より説明を行った。各報告案件は事務局説明のとおり進めることとした。

### （3）.2 第2回（第187回）

日 時	平成24年10月29日（月）
場 所	東京水道橋 東京学院会議室
出席者	会長代理 愛知県中野公営企業管理者 ほかに役員60名
来 賓	経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官 ほかに1名
議 題	第1号議案 平成24年度補正収支予算（案） 第2号議案 現行の定款及び一般社団法人移行に係る定款の変更（案） 第3号議案 平成25年度事業計画（案） 第4号議案 平成25年度収支予算（案） 第5号議案 入会の承認（案） 第6号議案 会長表彰受賞候補者の選考（案） 第7号議案 役員を選任（案） 第8号議案 一般社団法人移行後の役員を選任（案） 第9号議案 平成25年度工業用水関係予算の確保等に関する要望（案）
報告事項	

- （1）一般社団法人移行に係る内閣府への申請経過報告
- （2）日本工業用水協会第57回通常総会日程、次第（案）
- （3）「組織等の見直し委員会」中間報告
- （4）「工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ」平成24年度活動報告（中間報告）
- （5）平成25年度工業用水道事業施策に関する要望及び今夏の電力需給対策に関する要望の概要報告

## 概 要

経済産業省浜野工業用水道計画官から挨拶を頂戴した後、愛知県中野公営企業管理者が議長となり、議事録署名人として議長のほか橋本茨城県知事、森田千葉県知事を選任のうえ議事に入った。

議長の命により各議案に沿って事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。

議案審議後、報告事項について議長から事務局に説明を求め、それぞれについて事

務局より説明を行った。報告事項（５）を除き、事務局説明のとおりで進めることとした。

なお、報告事項（３）については、会員へのアンケートを実施した上で、平成２５年６月開催予定の一般社団法人日本工業用水協会第１回定時総会に報告することとした。

### (3) .3 第3回（第188回）

日 時 平成24年11月6日（火）  
場 所 東京市ヶ谷 アルカディア市ヶ谷  
出席者 会長代理 愛知県中野公営企業管理者 ほかに役員60名  
議 題 第1号議案 役付理事の選任（案）  
概 要

愛知県中野公営企業管理者が議長となり、議事録署名人として議長のほか高梨千葉県企業庁長、秋本山口県企業局長を選任のうえ議事に入った。

議長の命により議案の説明を事務局が行い、これについて審議が行われ、異議なく原案どおり承認された。

### (4) 正副会長会議

#### (4) .1 第1回（第82回）

日 時 平成24年6月7日（木）  
場 所 東京駅八重洲カンファレンスセンター 会議室  
出席者 会長代理 愛知県中野公営企業管理者 ほかに役員6名  
議 題 第1号議案 平成23年度事業報告書（案）  
第2号議案 平成23年度会計収支決算報告書（案）及び監査報告書  
第3号議案 入会の承認（案）  
第4号議案 後任役員を選任（案）  
第5号議案 一般社団法人移行に係る定款及び関連規則等の変更並びに公益目的支出計画（案）  
第6号議案 平成25年度工業用水道事業施策に関する要望事項について（案）  
そ の 他 報告事項

(1) 組織等の見直し委員会報告

(2) 工業用水道事業における災害相互応援に関する基本的ルール

(3) 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ 平成23年度活動報告

#### 概 要

愛知県中野公営企業管理者が議長となって議事に入った。

議長の命により各議案に沿って事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。

議案審議後、その他として議長から事務局に説明を求め、それぞれについて事務局より説明を行った。

その他について、それぞれ原案どおり理事会に報告することとした。

#### (4) .2 第2回(第83回)

- 日時 平成24年10月29日(月)  
場所 東京水道橋 東京学院会議室  
出席者 会長代理 愛知県中野公営企業管理者ほか役員6名  
議題 第1号議案 平成24年度補正収支予算(案)  
第2号議案 現行の定款及び一般社団法人移行に係る定款の変更(案)  
第3号議案 平成25年度事業計画(案)  
第4号議案 平成25年度収支予算(案)  
第5号議案 入会の承認(案)  
第6号議案 会長表彰受賞候補者の選考(案)  
第7号議案 役員を選任(案)  
第8号議案 一般社団法人移行後の役員を選任(案)  
第9号議案 平成25年度工業用水関係予算の確保等に関する要望(案)  
報告事項  
    (1) 一般社団法人移行に係る内閣府への申請経過報告  
    (2) 日本工業用水協会第57回通常総会日程、次第(案)  
    (3) 「組織等の見直し委員会」中間報告  
    (4) 「工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ」平成24年度活動報告(中間報告)  
    (5) 平成25年度工業用水道事業施策に関する要望及び今夏の電力需給対策に関する要望の概要報告

#### 概要

愛知県中野公営企業管理者が議長となって議事に入った。  
議長の命により各議案に沿って事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。  
議案審議後、その他として議長から事務局に説明を求め、それぞれについて事務局より説明を行った。  
その他について、それぞれ原案どおり理事会に報告することとした。

#### (5) 監事会

- 日時 平成24年5月25日(金)  
場所 日本工業用水協会会議室  
出席者 神戸市水道事業管理者(代理 水道局業務課橋本主査)  
日本上下水道設計株式会社代表取締役社長(代理 市川執行役員技術本部長)  
福島県知事(書面審議)

#### 概要

平成23年度における会務執行状況及び会計収支決算状況について監査が行われた結果、会務、会計収支ともに厳正かつ適切に運営・処理されていると認められた。



## 2. 工業用水道事業の推進

### (1) 平成25年度工業用水道事業施策に関する要望

日 時 平成24年7月31日(火)  
参加者 会長代理 愛知県企業庁村瀬技術監 ほか9名

#### 概 要

第186回理事会で承認された要望事項について、正副会長、事務局代表者で構成する要望団により、民主党幹事長に対して(経済産業省、総務省、財務省の各政務三役あて要望書を添えて)要望を行った。また、先立って経済産業省で要望事項等政策に関する意見交換を行い、引き続き、総務省自治財政局、国土交通省水管理・国土保全局へ要望を行った。

### (2) 平成25年度工業用水関係予算の確保に関する政府要望

日 時 平成25年1月22日(火)  
参加者 会長代理 愛知県企業庁村瀬技術監 ほか11名

#### 概 要

平成25年度工業用水関係予算の満額確保に向けて、正副会長、事務局代表者で構成する要望団により、経済産業省、総務省、財務省、へ要望を行った。なお、自由民主党へは事務局が要望を行った。

## 3. 事 業

### (1) 調査研究業務

#### (1) .1 工業用水道事業研究大会

日 時 平成24年9月13日(木)、14日(金)  
場 所 岩手県盛岡市 ホテルルイズ  
出席者 140名  
来 賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官 ほか4名  
総務省公営企業経営室 宮澤室長 ほか2名  
東北経済産業局産業振興課 古澤係長

#### 概 要

開会挨拶の後、岩手県青木企業局長から歓迎の挨拶があり、次いで総務省宮澤公営企業経営室長並びに経済産業省浜野工業用水道計画官から来賓挨拶があった。続いて、大会の運営方法について事務局より報告し了承を得た。

1日目の午前中は、指定課題1の「大震災等災害への対策・対応状況」のハード面の取組について、岩手県企業局県南施設管理所鈴木工業用水課長が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで、大阪広域水道企業団、大分県から事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換等が行われた。続いて、午後の前半は、同じ課題でハード面・ソフト面の取組について、アンケート結果の報告に続いて、愛知県、三重県から事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換等が行われた。

第1日目の午後の後半は、同じ課題でソフト面の取組について、宮城県企業局穴戸水道経営管理室長が座長となって進められ、神戸市、岩手県、宮城県の事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換等が行われた。

2日目の前半は、自由課題の「技術継承のための研修」について、東京都水道局若狭工業用水道担当課長が座長となって進められ、事務局から自由課題全般についてのアンケート結果の報告に続いて、大阪市から事例紹介が行われた。

後半は、「地方公営企業会計基準の見直しについて」と題して、総務省公営企業経営室清水目課長補佐から、「今後の低廉かつ安定的な工業用水供給の実現のために～産業構造審議会地域経済産業分科会工業用水道政策小委員会報告書より～」と題して、経済産業省産業施設課浜野工業用水道計画官からそれぞれご講演を頂いた。

この間、各課題に対し熱心な討議が行われ、経済産業省、総務省から意見、アドバイスなどを頂き2日間の大会を盛会裡に終了した。

## (1) .2 工業用水道事業経営委員会・工業用水道技術委員会の合同委員会（第1回）

日 時 平成24年5月16日（水）  
場 所 東京水道橋 東京学院会議室  
出席者 経営委員会服部委員長、技術委員会綾委員長 ほか25名  
来 賓 経済産業省産業施設課 桑山工業用水道計画官  
狩野課長補佐 ほか3名  
総務省公営企業経営室 清水目課長補佐 ほか1名  
議 題 1. 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループについて（報告事項）  
(1) 2011年東北地方太平洋沖地震に係る工業用水道施設の被害状況調査報告書（案）について  
(2) 工業用水道事業における災害相互応援に関する基本的ルール（案）について  
(3) 備蓄資機材の状況について  
(4) 工業用水道施設の計画的維持・更新のための評価手法（案）について  
2. 平成24年度工業用水道事業研究大会における検討課題の選定について  
3. 平成25年度工業用水道施策要望について  
4. その他

### 概 要

事務局より開会の後、経済産業省桑山工業用水道計画官及び総務省清水目課長補佐からご挨拶をいただいた。続いて服部経営委員長、綾技術委員長からそれぞれ挨拶があった後、議事進行方法を語り議事に入った。

議題1の工業用水関連分野のあり方ワーキンググループに係る報告事項については、事務局から説明、報告を行った。報告内容のとおり了承され、原案どおり次期総会に提出することとした。

次に、議題2の平成24年度事業研究大会における検討課題の選定について、資料に基づいて事務局から説明、希望課題の提案のあった事業体委員から提案の内容について説明があった。その後、事務局案をもとに検討を重ねた結果、「大震災等災害への対策・対応状況について」及び「節電対策について」を指定課題に、「1. 研修等の実施状況及び平成25年度計画、2. 施設維持管理、経営健全化対策について」を自由課題に選定した。また、研究大会課題のアンケートがある程度取りまとまった段階で、再度大会運営に関する合同委員会を開催することとした。

議題3の「平成25年度工業用水道事業施策要望について」は、各事業体より提出された要望事項及び経済産業省産業構造審議会工業用水道政策小委員会報告書（案）で提示されている提言の実現を目指す要望事項を含めた事務局案について、各項目ごとに追加・修正等の審議を重ね、修正案を整理した上で、書面で確認し、委員長一任でとりまとめることとした。

また、理事会等への提出資料は事前に委員に送付することとした。

(1) .3 工業用水道事業経営委員会・工業用水道技術委員会の合同委員会（第2回）

日 時 平成24年8月7日（火）  
場 所 東京水道橋 東京学院会議室  
出席者 経営委員会服部委員長、技術委員会綾委員長 ほか19名  
来 賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官 ほか2名  
総務省公営企業経営室 清水目課長補佐 ほか1名  
議 題 1. 工業用水道事業研究大会の運営について  
(1) 指定課題、自由課題について  
(2) 事例紹介について  
(3) 地方公営企業会計制度見直しに関する講演について  
2. その他

概 要

事務局から開会挨拶の後、綾技術委員長の進行のもと、運営方法、検討項目等の審議が行われた。

指定課題、自由課題については、事務局提案のとおりで了承された。大会運営において、事例紹介等は座長の判断で時間の厳守を前提として進めることとした。また、各課題の回答を整理し事業者会員を中心にメールで送付し、事前質問を受け、当日の意見交換等積極的な発言を促す運営を行うこととした。

(1) .4 工業用水関連産業部会

日 時 平成24年5月10日（木）  
場 所 富山県高岡市 ホテルニューオータニ高岡  
出席者 本山部会長 ほか21名  
来 賓 経済産業省産業施設課 桑山工業用水道計画官 ほか4名  
概 要

富山県利賀川工業用水道浸透池、北陸コカコーラ砺波工場を視察した後、ホテルニューオータニ高岡で部会を開催した。

部会は、本山部会長から挨拶の後、富山県企業局成瀬次長から歓迎の挨拶があった。その後、経済産業省桑山工業用水道計画官から産業構造審議会工業用水道政策小委員会報告書の概要等、事業を取りまく話題についてご講演を頂き、活発な意見交換が行われた。

(1) .5 工業用水処理技術委員会（後述（2）.1の編集委員会と合同開催）

日 時 平成25年1月21日（月）  
場 所 日本工業用水協会会議室  
出席者 綾・並木両委員長 ほか委員18名  
概 要

第48回研究発表会（平成25年3月）の運営、日刊工業新聞社賞の選定及びプログラム編成等の検討を行った。

(1) .6 研究発表会（第48回）

日 時 平成25年3月7日（木）、8日（金）  
場 所 東京市ヶ谷 自治労第1会館  
参加者 約110名  
来 賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官  
概 要

工業用水処理技術委員会並木委員長の挨拶に続き、来賓の経済産業省浜野工業用水道計画官からご挨拶を頂いた。次に、前年1年間の協会誌「工業用水」に掲載された論文の中から優れた論文に対し会長表彰する論文賞として、綾編集委員長から「阿武隈川上・中流域における河床付着生物膜の窒素変換機構」に対して代表者に賞状と副賞が授与された。続いて、奨励賞（論文賞）として、「三島浄水場の水道残さ有効利用の新たな取組について」に対して代表者に賞状が授与された。

次に、日刊工業新聞社賞を同社小松総務局総務部長から「管路更新工事に不断水工法を採用した施工技術」に尽力されたコスモ工機（株）に賞状と記念品が贈られた。

続いて、研究発表に入り、上記受賞記念講演のほか22件の研究発表並びに活発な質疑応答が2日間にわたって行われた。

(1) .7.① 組織等の見直し委員会（平成24年度第1回）

日 時 平成24年5月14日（月）  
場 所 日本工業用水協会会議室  
出席者 愛知県企業庁村瀬技術監 ほかに委員等20名  
議 題 「公益法人制度改革に係る基本的な見直し事項」の具体的な取扱い、定款の変更（案）、「組織等の見直し委員会」検討結果報告（案）等  
概 要

前回議事録を確認後、平成23年度に設置した本委員会を平成24年度も継続することとなり、正副委員長（継続）が確認された。

平成23年度の検討結果報告を確認し、定款等の一般社団法人移行申請内容について了解され、理事会、総会の承認を得ることとした。

(1) .7.② 組織等の見直し委員会（平成24年度第2回）

日 時 平成24年10月11日（木）  
場 所 日本工業用水協会会議室  
出席者 愛知県企業庁村瀬技術監 ほかに委員等20名  
議 題 事務局の移転予定、内閣府への申請経過報告、一般社団法人移行に伴う役員人事（案）、「組織等の見直し委員会」課題検討ほかについて  
概 要

前回議事録を確認後、事務局の移転予定、内閣府への移行申請経過報告、一般社団法人の役員人事案について、報告、確認された。

「組織等の見直し委員会」課題検討について、事務局の人員構成、一般社団法人移行後の実施事業・組織のあり方、それに沿った会費改定案が示され、検討の結果修正の上、中間報告として総会に報告することとした。

(1) .7.③ 組織等の見直し委員会（平成24年度第3回）

日 時 平成25年1月22日（火）

場 所 日本工業用水協会会議室

出席者 愛知県企業庁村瀬技術監 ほか委員等17名

議 題 「組織等の見直し委員会」最終報告、平成25年度以降の会長表彰推薦等ほかについて

概 要

前回議事録を確認後、委員会中間報告に対するアンケート結果を報告し、中間報告を基に最終報告とすることとなった。

会長表彰を6月の総会で実施することとなるため、推薦・選考を早めて実施することが確認された。

(1) .8.① 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ（第10回）

日 時 平成24年10月10日（水）

場 所 日本工業用水協会会議室

出席者 三重県企業庁谷口工業用水道事業課長 ほか委員等20名

議 題 工業用水道施設設計指針及び工業用水道維持管理指針改正の検討について

概 要

三重県企業庁谷口工業用水道事業課長が座長となって議事に入った。

委員から提出された改正のポイントを元に、改正の必要性等を検討し、設計指針、維持管理指針とも改正の必要があるとされ、編集の古い維持管理指針を先に進める方向で、平成25年2月までに委員等のニーズを聴取した上で、再度開催し、提言をとりまとめることとした。

なお、本ワーキンググループは5年間の活動で成果を得、引き続き情報提供を行っていくシステムが整備されつつあるため今年度をもって活動を休止することとなった。

(1) .8.② 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ（第11回）

日 時 平成25年2月13日（水）

場 所 日本工業用水協会会議室

出席者 三重県企業庁谷口工業用水道事業課長 ほか委員等15名

議 題 工業用水道施設設計指針及び工業用水道維持管理指針改正点への意見についてほか

概 要

前回議事録を確認した後、平成24年度ワーキンググループ活動報告について、工業用水道施設設計指針及び工業用水道維持管理指針改正点等を含めて事務局から説明を行い、検討の結果一部修正の上確認することとなった。

確認後の報告は、6月の総会に報告することとした。

(1) .9 調査報告書等情報の提供

平成23年度協会自主事業としてとりまとめた下記の報告書等を平成24年6月にCDに収録し、会員へ送付した。

なお、「工業用水道事業における災害相互応援に関する基本的ルール」は、協会ホー

ムページにも掲載し、全国の工業用水道事業者が入手可能となっている。また、経済産業省産業施設課から平成25年3月15日発信の「全国相互応援体制における経済産業局の連絡窓口一本化への協力及び各工業用水道事業者への周知依頼」が行われている。

- 2011 東北地方太平洋沖地震に係る工業用水道施設の被災状況調査報告書（資料編も含む）
- 工業用水道事業における災害相互応援に関する基本的ルール
- 工業用水道施設の計画的維持・更新のための評価手法（案）

#### (1) .10 今夏の電力需給対策に関する要望

政府から出された「今夏の電力需給対策について」における、セーフティーネットとしての計画停電の準備を進めることとされた4電力及び経済産業省にそれぞれ次のとおり要望を行った。概要を次に示す。

##### ○経済産業省

実施日：平成24年6月11日（月）

参加者：千葉県企業庁岩崎管理・工業用水部次長、事務局

対応者：産業施設課桑山工業用水道計画官、電力・ガス事業部三田政策課長

##### ○関西電力

実施日：平成24年6月12日（火）

参加者：大阪広域水道企業団林技術長兼事業管理部長、計画課松村計画調整グループ長、事業推進課浅川工業用水グループ長、大阪市水道局衣川営業企画担当課長、峯工業用水道担当係長、事務局（専務理事）

対応者：火力事業本部山中火力部長、稲田火力グループリーダー、電力流通グループ田中ネットワーク技術運用グループマネージャー

##### ○四国電力

実施日：平成24年6月12日（火）

参加者：香川県水道局総務課野崎主任、竹本主事、事務局（専務理事）

対応者：営業推進本部平野営業推進グループリーダー、計画グループ森下副リーダー、火力本部太田運営グループリーダー

##### ○北海道電力

実施日：平成24年6月15日（金）

参加者：北海道企業局村井工業用水道課長、岡主幹、事務局（専務理事）

対応者：営業部企画G宮崎教育・品質担当課長、営業企画G牛間氏

##### ○九州電力

実施日：平成24年6月18日（月）

参加者：福岡県企業局本松管理課長、谷口電気工水係長、事務局（専務理事）

対応者：火力部久保業務管理グループ長、同G江藤氏

#### (1) .11 地方公営企業会計制度等の見直しに関する実務者研修会

##### 概 要

研修会の開催状況は次のとおりである。研修は、午前中が配付資料Ⅰを中心に講師による講義が行われ、午後に資料Ⅱ及び事前質問について質疑応答・意見交換が行われた。これに関連して、平成23年度末に実施したアンケートの質問、研修会の質問に対す

るQ&Aを作成し、平成25年3月26日に事業者会員へメールで情報提供した。

第1回 開催日：平成24年11月16日  
開催場所：日本工業用水協会会議室  
出席者：8人（7事業体）

第2回 開催日：平成24年11月22日  
開催場所：日本工業用水協会会議室  
出席者：8人（7事業体）

第3回 開催日：平成24年12月7日  
開催場所：メルパルク岡山 会議室  
出席者：15人（12事業体）

各回共通

講師：NJS 日本上下水道設計株式会社 経営工学研究所 山本有孝氏  
配付資料：Ⅰ．地方公営企業会計制度の見直しと工業用水道事業  
Ⅱ．個別課題と具体的対応  
事前質問票

#### (1) .12 水道分野における官民連携推進協議会

(厚生労働省、経済産業省、日本水道協会との共催、5回開催)

概要

我が国の水道分野（水道事業及び工業用水道事業）を取り巻く環境が年々厳しさを増す中、これらの課題に対して、広域化の推進や官民連携、水道事業と工業用水道事業との連携など地域の実情を勘案し、多様な形態により運営基盤の強化を推進することが不可欠であり、厚生労働省と経済産業省が連携し、水道事業者等と民間事業者との間におけるマッチング促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」を以下の体制で開催した。

実施体制 主催 厚生労働省、経済産業省  
共催 (社)日本水道協会、(社)日本工業用水協会  
本取組は、「水道分野における関係者連絡会議」における活動の一環

開催状況 第1回協議会  
平成24年 7月26日（木）北海道札幌市 参加108名  
第2回協議会  
平成24年 9月19日（水）福島県郡山市 参加 88名  
第3回協議会  
平成24年10月 9日（火）宮城県仙台市 参加129名  
第4回協議会  
平成24年10月24日（水）岩手県盛岡市 参加121名  
第5回協議会  
平成24年12月13日（木）大阪府大阪市 参加141名

(2) 出版に関する事業

(2) .1 編集委員会（5回開催）

会誌「工業用水」の編集方針、企画、編集整理、原稿審査等を行った。また、掲載論文の中から論文賞の選考を行った。

また、平成23年度から工業用水処理技術委員会との合同開催とし（平成25年1月21日開催）、第48回研究発表会の応募発表及び日刊工業新聞社賞を審査して、プログラムの編成を行った。

(2) .2 出版図書

- ・会誌「工業用水」平成24年5月～平成25年3月号（No.612～617）

(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

(3) .1 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定

大成機工（株）ほか11件の認定更新申請があり、事業体委員で構成される「管・弁類等製造事業場認定委員会」により、製造事業場の設置、検査法、品質管理等についての審査を行った結果、認定工場として承認した。

(3) .2 管・弁類の委託検査

工業用水道において使用するダクタイル鋳鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管、弁類等の検収検査を（社）日本水道協会に委託して行った。

(4) 受託調査等

河川整備基金助成事業「河川景観の写真画像整備とその普及啓発」について、データの整備を行い報告書にとりまとめるとともに、その成果を協会ホームページで公表した。